

SDGs REPORT 2023

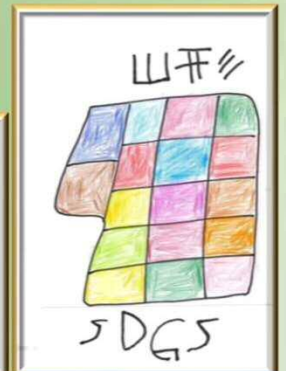
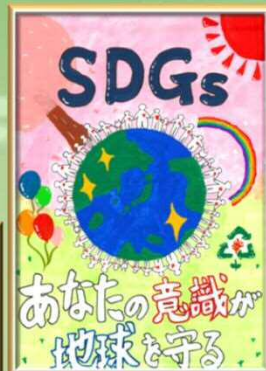
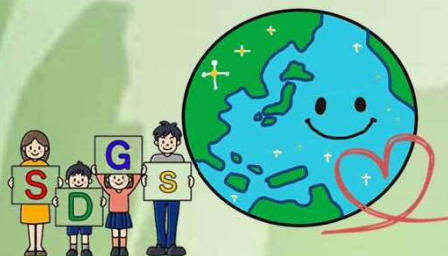
〈環境経営レポート実績報告〉

対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日

発行：2023年5月29日

守ろう、地球。創ろう、未来

2022年度クリーンシステムグループ
SDGsポスターコンテスト応募作品



クリーンシステム

CLEAN SYSTEM

株式会社クリーンシステムは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

1.目次

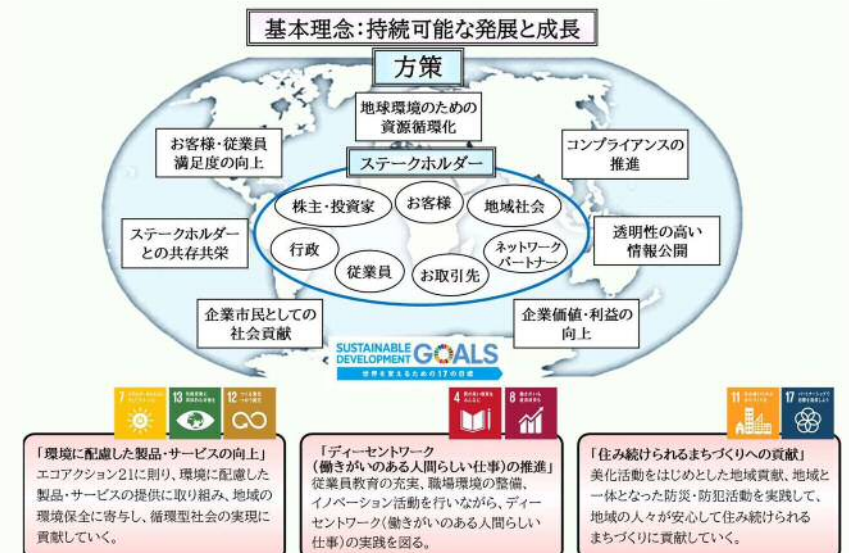
項目	内容	頁数
1.目次		1頁～2頁
2.クリーンシステムグループ方針	・2022年度経営方針とCSR方針	2頁～3頁
3.企業概要	- 概要 - 事業内容 - エコアクション21登録内容 - 事業推移 - 組織図 2021年度部門方針	3頁～5頁
4.環境経営レポート(実績報告)		
①環境経営方針 企業理念・重点方針		6頁～7頁
②環境経営システム実施体制図		
③環境経営目標と実績・評価	- CO2排出量 - 水道使用量 - 廃棄物の排出量 【廃棄物削減の主な取り組み】 - 物損事故の削減 - 地域貢献活動	7頁～12頁
④環境関連法規等の遵守状況の確認 評価結果・並びに違反・訴訟の有無		13頁～14頁
⑤代表者による全体の評価と見直し・指示／エコアクション21事務局より		
⑥産業廃棄物処理業者としての情報公開		
1) 許可状況一覧	- 産業廃棄物収集運搬業 - 特別管理産業廃棄物収集運搬業 - 産業廃棄物処分業 - 一般廃棄物収集運搬業・処分業	15～16頁～17頁
2) 収集運搬業	- 車両一覧表及び低公害車両の導入状況 - 積替え保管施設・その他	17頁～18頁
3) 処分業	- 本社：処理施設の概要 - 本社：処理工程図 - 関東支店：処理施設の概要・処理工程図	19～20頁～21頁
4) 処理実績	- 収集運搬量（産廃・特管産廃・一般廃） - 処分量（産廃・一般廃）	22頁～23頁
⑦環境測定結果	公害防止協定に基づく環境測定	24頁～25頁
5.2022年度CSRレポート		
特集 クリーンシステム創立30周年「進化を続けてきた30年の歩み」		25～26頁～27頁
特集 「TNFDフォーラム」への参画について		27頁～28頁
特集 自家消費型太陽光発電【太陽光発電システムの利用状況と当社が考える太陽光発電のメリット】		28頁～29頁
特集 アスベスト調査事業をはじめました		29頁～30頁
特集 3年ぶりの開催 河川清掃/芋煮フェス/安全衛生大会		30頁～31頁
2022年度定例活動実績	30周年記念植樹祭 - 自動車優良整備事業の表彰 - 産業安全優良事業場の表彰 - 循環型社会形成推進功労者等環境大臣賞受賞 4年連続「健康経営優良法人」の認定 - 遊戯施設へのウレタンマット、おもちゃ箱寄贈 - 近隣地区への寄付 - 山形市社会福祉協議会へ食料品の寄贈 - AEDの屋外設置 - トルコ・シリア地震義援金寄付 - 山形市内小学校2校の会社見学（環境学習） - リフレッシュルームの貸し出し - 従業員満足度調査の実施 - CSグループ「SDGsポスターコンテスト」開催 - 従業員へのインフレ手当の支給 - 従業員への30周年記念品贈呈 - お客様へバレンタインチョコレートのプレゼント	31～34頁～35頁

2.クリーンシステムグループ方針【経営方針とCSR方針】

2022年度クリーンシステムグループ経営方針



2022年度クリーンシステムグループSDGs方針



3.企業概要

概要		
会 社 名	株式会社クリーンシステム (英) Cleansystem CO., Ltd	
代 表 者	代表取締役 鈴木 隆	
所 在 地	【本社】 〒990-0845 山形県山形市飯塚町字中河原1629番地の5 T E L 023-644-2228 F A X 023-644-7010	
	【C S Rステーション】 〒990-2351 山形県山形市鑄物町6 西部工業団地内	
	【関東支店】 〒277-0804 千葉県柏市新十倉二丁目7-8 十倉二工業団地内 T E L 04-7135-1253 F A X 04-7135-1263	
業 務 内 容	廃棄物リサイクル事業、廃棄物収集運搬事業、リサイクル型解体事業 P C B 調査・処理支援事業、アスベスト調査事業、 環境コンサルタント事業、I T 構築・運用支援事業	
法 人 設 立 年 月 日	1978年(昭和53年) 2月	
資 本 金 等	200百万円 (資本剰余金を含む)	
売 上 高	3,250百万円 (2022年4月～2023年3月)	
従 業 員 数	130人 (男性108人 女性22人) ※2023年4月1日現在	
関 係 会 社	株式会社オーガルホールディングス 株式会社県南チップ	
パ ー ト ナ ー シ ッ プ 企 業	東北クリーン開発株式会社 株式会社クリーンパワー山形	

事業内容

特 定 建 設 業	山形県知事許可：解体工事業、建築工事業、土木工事業、とび・土工工事業
産 業 廃 棄 物 処 分 業	山形市・柏市
産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業	山形県・宮城県・福島県・岩手県・秋田県・千葉県・茨城県・栃木県・埼玉県 群馬県・新潟県
特別管理産業廃棄物 収集運搬業	山形県・宮城県・福島県・秋田県・群馬県
一 般 廃 棄 物 処 分 業	山形市
一 般 廃 棄 物 収 集 運 搬 業	山形市・中山町
所 属 団 体	一般社団法人 山形県産業資源循環協会 一般社団法人 山形県解体工事業協会 山形再生骨材協同組合 N P O 北日本木材資源リサイクル協会 一般社団法人 日本P C B 全量廃棄促進協会
取 引 銀 行	きらやか銀行(中央営業部) 山形銀行(本店営業部) 商工中金(山形支店) 七十七銀行(山形支店) みずほ銀行(山形支店)

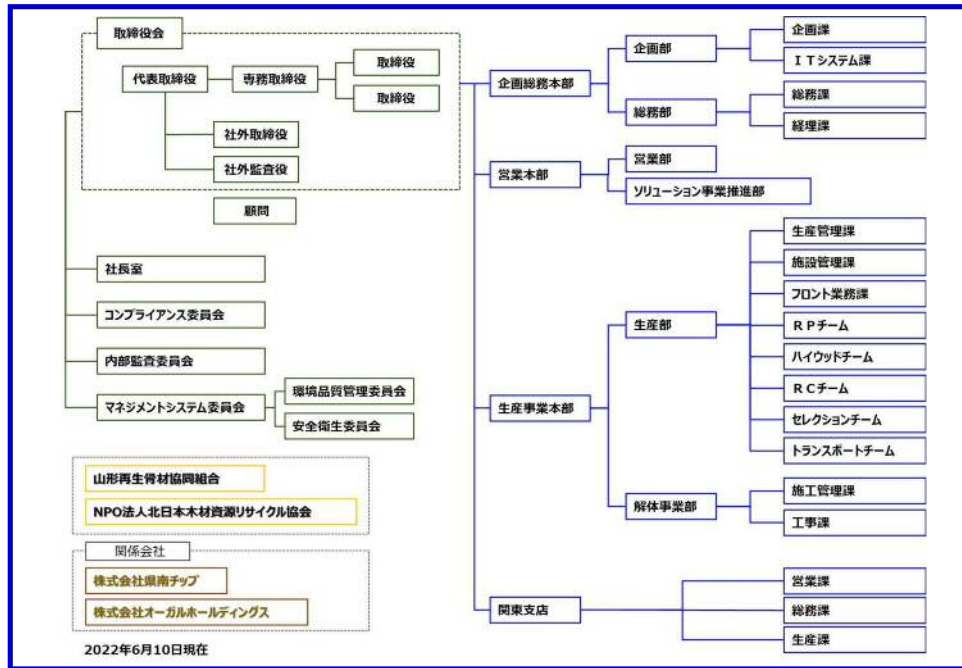
エコアクション21登録内容

業 務 内 容	産業廃棄物収集運搬業及び中間処理業 特別産業廃棄物収集運搬業 一般廃棄物収集運搬業及び中間処理業 解体工事業	
環 境 管 理 責 任 者	企画総務本部 取締役本部長 高田 裕太	※2023年4月現在
連 絡 担 当 者	生産部 生産管理課 石川 渉太	※2023年4月現在
登 録 範 囲	全組織・全活動	
対 象 取 組 み 期 間	2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)	

事業推移(2018年度～2022年度)



組織図



4. 環境経営レポート

①環境経営方針

企業理念

われわれは、当社の業務を通し、現在の豊かな自然環境を次代に継承していくため、創造性を発揮した発展と成長の考えの下、エコアクション21を構築・運用することにより、積極的に脱炭素社会への貢献に努めます。

重点方針

1. エネルギーの活用

CO2排出量削減・気候変動対応に即するため、省資源・省エネルギーはもとより、再生可能エネルギーの活用を図ります。

2. 環境経営目標の設定

環境経営方針を達成するため、技術的、経済的に可能な範囲で環境経営目標を設定し、必要に応じ見直しするなど、環境経営の継続的な向上に努めます。

3. 環境関係法規制等の順守

環境関連の法律・規則・条例等を遵守し、環境に悪影響を及ぼす物質の排出抑制、環境汚染の未然防止に努めます。

4. 持続可能な循環型社会の構築

サーキュラーエコノミー(循環型経済)の実現に寄与するため、ステークホルダーとのコミュニケーションを推進し、リサイクル製品の普及はもとより研究開発に努めます。

5. 社会への貢献

CSR活動及びSDGsの推進により、地域社会と融合した次世代クリーンシステムを構築するほか、ホームページでは廃棄物処理や資源循環等に関しても積極的に情報公開致します。

この環境方針は文書化し、全従業員に周知するとともに、社外に公表しその達成に努めます。

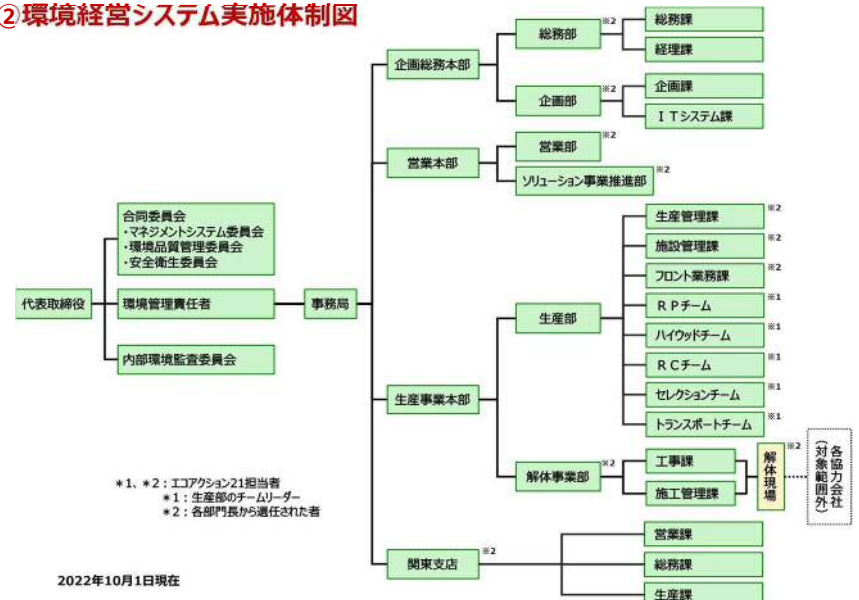
制定 2004年 8月12日

改定 2021年 5月25日

株式会社クリーンシステム

代表取締役 鈴木 隆

②環境経営システム実施体制図



2022年度部門方針



③環境経営目標とその実績・評価

【CO2排出量】

(*1: 実績値/目標値又は実績値/目標値で表示した
 (*2: 電力のCO2排出係数は、まち未来製作所のH30年度調整後排出係数(R2.1.7公表)を使用した…0.513kg-CO2/kWh
 (*3: ◎…達成率105%超、○…達成率95-105%、△…達成率90-95%、×…達成率90%未満



2022年度環境経営目標と実績

	2021年度実績 (基準値)	2022年度				
		目標		実績値	達成率 ^(※1)	評価 ^(※2)
CO2排出量 ^(※2) (Kg-CO2/年)	2,164,893	基準値比 0.6%増	2,177,882	2,218,649	98.2%	○
電気使用量 (kWh/年)	1,958,441	基準値比 1.6%増	1,989,776	1,955,893	101.7%	○
軽油使用量 (ℓ/年)	419,655	基準値比 0.3%減	418,396	440,790	94.9%	△
ガソリン使用量 (ℓ/年)	30,882	基準値比 0.3%減	30,789	31,265	98.5%	○
灯油使用量 (ℓ/年)	1,395	基準値比 10%増	1,535	1,828	83.9%	×
LPG使用量 (kg/年)	819	基準値比 40%減	491	317	154.8%	◎

2023年～2026年度 中長期環境経営目標

	2022年度実績 (基準値)	2023年度 目標値	2024年度 目標値	2025年度 目標値	2026年度 目標値
CO2排出量 (Kg-CO2/年)	2,218,649	2,216,430			
電気使用量 (kWh/年)	1,955,893	基準値比 0.1%	1,953,937	基準値比 0.2%減	基準値比 0.3%減
軽油使用量 (ℓ/年)	440,790		440,349	基準値比 0.3%減	基準値比 0.4%減
ガソリン使用量 (ℓ/年)	31,265		31,233		
灯油使用量 (ℓ/年)	1,828	基準値同等	1,828	基準値同等	基準値同等
LPG使用量 (kg/年)	317		317		

環境経営計画に基づき実施した取組内容・評価

主な取組内容と取組結果並びに次年度の取組内容

項目	主な活動内容(2022年度)	評価	次年度の活動内容
CO2排出量	・クールビズ、ウォームビズの実施 (室内温度 冷房28℃程度、暖房22℃程度) ・生産/処理効率向上 ・デマンド監視によるピークシフト ・新管理棟(ZEB)用太陽光発電設備の設置(8月) ・窓の開閉等による空調機の限定使用 ・照明、空調機の定期点検、維持管理	○	2022年度の活動内容と同じ
	・エコドライブの促進 (急発進・急加速の排除、アイドリングストップの実施) ・エコカー等の導入 ・重機の作業効率改善 ・業者委託及び社内で定期点検を実施	○	
	・効率的な作業計画(F/L) ・暖房時の室温管理(冬季間) ・適切な温水管理	○	

③環境経営目標とその実績・評価

【水道使用量】

(*1: 実績値/目標値又は実績値/目標値で表示した
 (*3: ◎…達成率105%超、○…達成率95-105%、△…達成率90-95%、×…達成率90%未満



2022年度環境経営目標と実績

	2021年度実績 (基準値)	目標		2022年度 実績値	達成状況 (※1)	評価 (※3)
水使用量 (m/年)	92,975	基準値比 0.3%減	92,696	87,201	106.3%	◎
上水使用量 (m/年)	2,250	基準値比 10%減	2,025	 1,528	132.5%	◎
地下水使用量 (m/年)	90,725	基準値同等	90,725	85,673	105.9%	◎

2023年～2026年度 中長期環境経営目標

	2022年度実績 (基準値)	2023年度 目標値	2024年度 目標値	2025年度 目標値	2026年度 目標値
水使用量 (m/年)	87,201		87,201		
上水使用量 (m/年)	1,528	基準値同等	1,528	基準値同等	基準値同等
地下水使用量 (m/年)	85,673		85,673		

環境経営計画に基づき実施した取組内容・評価

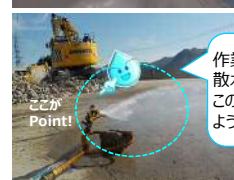
主な取組内容と取組結果並びに次年度の取組内容

項目	主な活動内容(2022年度)	評価	次年度の活動内容
水使用量	・トイレ、手洗い、洗車時の節水励行 (コロナ等感染症流行時は除く) ・洗車ガン付きホースの使用	○	2022年度の活動内容と同じ
	・散水状態の管理	○	

事務所内の手洗い場はすべてセンサー水栓を採用し、節水に努めております。



洗車用のホースには手元で操作ができるスプレーガンを使用しております。



作業場内で使用する粉じん飛散防止用散水機です。この散水機は無人で広範囲に散水できるように改良してあります。



2022年度の活動内容には含まれていないのですが、上水使用量削減を目的として、2022年に種苗事業を水道水を利用して散水していたビニールハウスから水田へ変更。その取り組みにより種苗事業での上水使用はなくなりました。

③環境経営目標とその実績・評価

【物損事故の削減】

(*1: 実績値/目標値又は実績値/目標値で表示した
(*3: ◎…達成率105%超、○…達成率95-105%、△…達成率90-95%、×…達成率90%未満

2022年度環境経営目標と実績

	2021年度実績 (基準値)	2022年度			
		目標	実績値	達成状況(*1)	評価(*3)
物損事故件数 (件/年)	12件	—	10件以下 8件	125%	◎

2023年～2026年度 中長期環境経営目標

	2022年度実績 (基準値)	2023年度 目標値	2024年度 目標値	2025年度 目標値	2026年度 目標値
物損事故件数 (件/年)	8件	10件以下			

環境経営計画に基づき実施した取組内容・評価

主な取組内容と取組結果並びに次年度の取組内容

項目	主な活動内容(2022年度)	評価	次年度の活動内容
物損事故削減	・KYTの実施 ・ヒヤリハットの提出、対策 ・週間重点目標の設定・KYTの実施 ・安全パトロール ・ドライバー日誌情報、関連写真提出 ・職長会議の定期開催 ・指差し呼称の完全実施	○	2022年度の活動内容と同じ

2022年度クリーンシステム安全スローガン

年間スローガン『新たな視点と惜しまぬ努力 みんなで目指すゼロ災害』

季節スローガン

春『「やればよかった」後悔よりも「やってよかった」指差し呼称』

夏『チームで防ぐ熱中症 こまめな声掛け 水分補給』

秋『目配り 気配り 心配り 仲間を守るコミュニケーション』

冬『安全に 近道 抜け道 妥協なし ゆっくり走ろう 冬の道』

提出されたヒヤリハット報告書の一枚

報告書には「何が原因か」や「どうすれば防げるか」など対策や改善案を記入するところがあり、状況を振り返りまた原因を考えることが再発防止につながっていると考えられます



2022年度はヒヤリハットの件数が121件と大幅に増えました。そして物損事故・人身事故が減少。ヒヤリハットの提出・対策が事故を未然に防いでいることがこちらのグラフからもわかります。

③環境経営目標とその実績・評価

【地域貢献活動】

(*1: 実績値/目標値又は実績値/目標値で表示した
(*3: ◎…達成率105%超、○…達成率95-105%、△…達成率90-95%、×…達成率90%未満

2022年度環境経営目標と実績

	2021年度実績 (基準値)	2022年度			
		目標	実績値	達成状況(*1)	評価(*3)
地域貢献活動の実施 (件/年)	21件	—	21件以上 22件	104.8%	○

2023年～2026年度 中長期環境経営目標

	2022年度実績 (基準値)	2023年度 目標値	2024年度 目標値	2025年度 目標値	2026年度 目標値
地域貢献活動の実施 (件/年)	22件	22件以上			

環境経営計画に基づき実施した取組内容・評価

主な取組内容と取組結果並びに次年度の取組内容

項目	主な活動内容(2022年度)	評価	次年度の活動内容
地域貢献活動の実施	・献血活動の実施 (2回) ・エコキャップ、プルタブの回収 (3回) ・河川清掃の実施 (1回) ・西部工業団地清掃活動 (4回) ・マイロード活動の実施 (8回) ・山形県解体工事業者協会の防災訓練への協力 (1回) ・その他	○	2022年度の活動内容に 学生、住民等の場内視察への 対応を追加

エコキャップ・プルタブの回収活動(年3回)

ペットボトルのキャップやプルタブ(アルミ缶)を協会の皆様が従業員に協力していただき回収しております。これらを売却した収益から車いす等を購入し、近隣の福祉施設等への寄贈活動を行っております。



マイロード清掃活動(年8回)

当社はSDGsの考えに賛同し様々な活動を行っております。その中に「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」という目標があります。残念ながらこの清掃活動で感じるのは、ポイ捨てや不法投棄が減っていないという現実です。無責任に捨てられたごみは自然にとけ込むことなく、環境問題に発展していきます。その現実を多くの人に伝えることができればいいという気持ちで、今後も清掃活動を続けていきたいと思っております。



献血活動の実施(年2回)

SDGsの取り組みの一環として、また山形ライオンズクラブの献血アクティビティ事業協賛として10月と2月の2回実施し、計64名が参加しました。山形県献血サポート団体にも認定されており、今年で9年目を迎えました。今後も「献血サポート団体」として献血活動をはじめ、地域の皆様の支援につながるように積極的に実施してまいります。



④環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果、並びに違反・訴訟の有無

当社が遵守すべき主な環境関連法規等

環境関連法規等の名称	主な遵守すべき内容	遵守状況
労働安全衛生法	・就業制限(移動式クレーン：1t以上／玉掛け：1t以上／ガス溶接、フォークリフト：1t以上／重機) ・定期自主検査(天井クレーン／移動式クレーン／重機)	○
廃棄物処理法 (山形県条例) (秋田県条例)	・収集運搬/処分契約(排出事業者/廃棄物処理業者、解体工事を含む) ・マニフェスト管理(回付管理、帳簿の備付、交付状況報告、等) ・実績報告(産廃/一廃処理状況報告、多量排出事業者) ・廃棄物の保管基準、表示の管理 ・県外産業廃棄物処分に関する事前協議	○
建設リサイクル法	・請負契約、発注者への報告 ・分別解体、再資源化	○
消防法 (危険物に関する政令、 山形市火災予防条例)	・軽油・ガソリン地下タンクの管理 ・指定可燃物(再生資源燃料、紙くず、木くず、合成樹脂)の管理 ・少量危険物庫、灯油タンクの管理	○
フロン排出抑制法	・第一種特定製品(エアコン等)の点検及び記録の製品廃棄後3年保管 ・第一種特定製品廃棄時の回収依頼書(A票)、引取証明書(E票)の3年保管 ・解体工事では、元請業者からの第一種特定製品の事前確認書面を3年保管 ・第一種特定製品引取り時の引取証明書(E票)の確認、3年保管 ・二次事業者への引渡し時の引取証明書(E票)コピーの提出	○
浄化槽法	浄化槽の維持管理(保守点検、清掃、11条検査、等)	○
山形市との公害防止協定	・大気汚染防止法等に係る基準の順守 ・敷地境界における水質、騒音、振動、臭気の測定及び報告	○

=法令等の違反、訴訟の有無=

関係当局からの違反等の指摘、指導、及び環境関連訴訟はありません。
外部からの苦情、要望に対しては、コミュニケーション記録を作成し対応しております。

⑤代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 環境経営方針の変更の必要性

・変更の必要はない。

2. 環境経営目標及び環境経営計画が、達成・実施されていない場合の処置

・達成・実施されていない場合についてはその原因を即時調査し、適宜対応することとする。

3. 実施体制の変更の必要性

・2023年4月の組織変更を反映した実施体制を確認した。

4. その他

・SBT認証についてEA 2 1 への反映の方法を模索すること。

2023年5月29日
株式会社クリーンシステム
代表取締役 鈴木 隆

エコアクション21事務局より

2021年にエコアクション21に切替えてから初めての中間審査が実施されました。

審査では無駄な電気の消灯、ゴミの分別、エコドライブへの取組、ペーパーレス化等について評価していただき、特に電気に関してはデマンド監視によるピークカットやCO2排出係数の小さな会社から電気を購入している点を高く評価していただきました。



また、2023年度は老朽化したキュービクル式高圧受電設備の更新も控えております。老朽化した変電設備は変電効率が40%も落ちると言われており、更新後の電気量について注視したいと思います。

一方、中間審査にて自己チェックに関する事項等で4点の指摘事項がありました。
こちらは中間審査後速やかに是正をおこないました。
今後ともエコアクション21の適切な運用に努めてまいりますので
よろしくお願いいたします。

EA21事務局 石川・大澤

⑥産廃処理業者としての情報公開 2023年(令和5年) 3月31日現在

1)許可状況一覧

				産業廃棄物収集運搬業許可品目（○は横替え保管						
許可名称	届出先	許可番号	許可の有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず
産業廃棄物収集運搬業	優良認定	山形県 第00601008236号	自 平成31年3月27日 至 令和8年3月26日	○	○	○	○	○	○	○
		山形市 第13011008236号	自 平成31年3月27日 至 令和8年3月26日	○	◎	○	○	○	◎	○
		岩手県 第00300008236号	自 令和5年3月7日 至 令和12年3月6日	○	○	○			○	○
		宮城県 第00400008236号	自 令和4年11月19日 至 令和11年11月18日	○	○	○	○	○	○	○
		秋田県 第00505008236号	自 令和5年3月24日 至 令和12年2月17日	○	○	○			○	○
		福島県 第00707008236号	自 平成28年5月25日 至 令和5年5月12日	○	○	○	○	○	○	
		栃木県 第00900008236号	自 令和4年2月18日 至 令和10年2月17日	○	○	○	○	○	○	○
		群馬県 第01000008236号	自 令和2年12月4日 至 令和9年12月3日	○	○	○	○	○	○	○
		埼玉県 第01101008236号	自 平成28年7月20日 至 令和5年7月4日	○	○	○	○	○	○	○
		千葉県 第01200008236号	自 令和元年12月10日 至 令和8年10月21日		○	○			○	○
		新潟市 第05902008236号	自 平成28年11月19日 至 令和5年11月18日		○	○			○	○
	茨城県	第00801008236号	自 令和元年7月8日 至 令和6年7月7日	○	○	○	○	○	○	○

				特別管理産業廃棄物（廃PCB及びPCB汚染物は低濃度PCBに限る）						
許可名称	届出先	許可番号	許可の有効期限	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃PCB	PCB汚染物	廃石綿等	ダイオキシン類
特別収集運搬産業廃棄物	優良認定	山形県 第00651008236号	自 令和3年4月21日 至 令和10年4月2日	○	○	○	○	○	○	○
		宮城県 第00450008236号	自 令和3年7月20日 至 令和6年12月22日	○	○	○	○	○	○	○
		秋田県 第00555008236号	自 令和3年10月21日 至 令和8年10月20日	○	○	○	○	○	○	○
		福島県 第00757008236号	自 令和3年7月2日 至 令和8年7月1日	○	○	○	○	○	○	○
		群馬県 第01050008236号	自 平成31年3月7日 至 令和6年3月6日				○	○		

				産業廃棄物処分業許可品目 処分法ごと（特別産業廃棄物であるものは除く）					
許可名称	届出先	許可番号	許可の有効期限	処分法	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず
産業廃棄物処分業	優良認定	山形市 第13021008236号	自 令和2年3月23日 至 令和8年3月26日	破碎処分		○	○	○	○
				切断処分		○	○		
				選別処分	○	○	○	○	○
				分離処分		○	○		
				減容固化処分		○	○	○	○
				圧縮梱包処分		○	○	○	○
	柏市	第11120008236号	自 平成29年2月9日 至 令和6年1月29日	破碎処分		○	○	○	○
				圧縮処分		○	○		○

※すべての種類で自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物を除く											
木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず コンクリート 陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	石棉含有 廃棄物	水銀使用 製品廃棄物	水銀含有 ばいじん等
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
○		○		○	○		○	○			
○	○		○	○	○	○	○	○		○	○
○	○	○		○			○	○			
○	○	○		○			○				
○	○	○	○	○	○		○				
○	○	○	○	○	○	○	○	○			

に限る)
キシソ類
ばいじん
○
○
○
○

優良認定許可件数	
産業廃棄物収集運搬業	11件
特別管理産業廃棄物収集運搬業	1件
産業廃棄物処分業	2件

物であるものは除く)		
金属くず	ガラスくず コンクリート 陶磁器くず	がれき類
○	○	○
○	○	○
○	○	
○	○	
	○	

許可名称	届出先	許可番号	許可の有効期限	品目
一般廃棄物	収集運搬業	山形市 山形市指令廃第49-33号	自 令和4年4月1日 至 令和6年3月31日	ごみ
		中山町 11号	自 令和4年10月10日 至 令和6年10月9日	ごみ
	処分業	山形市 山形市指令廃第50-4号	自 令和4年4月1日 至 令和6年3月31日	ごみ
		中間処理（破碎処分・減容固化処分） 木くず・コンクリート類・ガラス・陶磁器くず 紙くず・廃プラスチック類・金属くず		

⑥産廃処理業者としての情報公開

2)収集運搬業

収集運搬車両として登録している車両一覧

2023年3月31日現在

運搬車両の車種		台数	運搬車両の車種		台数
小型移動式クレーン車	12 t 車	1台	ダンプ車	10 t 車	3台
	8 t 車	1台		6 t 車	2台
	6 t 車	5台		4 t 車	2台
	4 t 車	3台		3 t 車	1台
	2 t 車	4台		2 t 車	1台
アームロール車	12 t 車	2台	ウイング車	12 t 車	2台
	6 t 車	5台	その他車両	バン	1台
	4 t 車	3台		軽トラック	2台
バックカー車	10 t 車	1台		軽ライトバン	6台
	6 t 車	2台	合 計	47台	



低公害車の導入状況

低排出ガス基準	台数	全体の割合
平成30年規制適合車	3台	6%
平成28年規制適合車	11台	23%
平成22年規制適合車	13台	28%
平成21年規制適合車	7台	15%
平成19年規制適合車	5台	11%
平成17年規制適合車	7台	15%
平成10年規制適合車	1台	2%
合計	47台	100%

2022年度では、「平成6年規制適合車1台を廃車」「平成30年規制適合車3台増車」「平成28年規制適合車3台増車」と低排出ガス基準の古いものを廃車し、新しいものに入替を計画的におこなっております。



廃棄物の状況に合わせて、コンテナも多種多様準備しております。



⑥産廃処理業者としての情報公開

2)収集運搬業

【積替え保管場所】

施設の所在地
山形県山形市飯塚町字中河原1629番地の5

産業廃棄物の種類	ゴムくず
施設の面積	2.6㎡
保管上限量	2.0㎡
積上げ高さ	1.0m(容器)



積替え保管場所
(ゴムくず)

産業廃棄物の種類	石綿含有廃棄物 【廃プラスチック類・がれき類 ガラスくず等・金属くず】
施設の面積	2.6㎡
保管上限量	2.0㎡
積上げ高さ	1.0m(容器)



積替え保管場所
(石綿含有廃棄物)

積替え保管場所
(水銀使用製品産業廃棄物)



積替え保管場所
(廃乾電池)

産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物 【廃プラスチック類 金属くず・ガラスくず等】
施設の面積	3.5㎡
保管上限量	2.9㎡
積上げ高さ	2.0m(容器)

産業廃棄物の種類	廃乾電池【汚泥・金属くず】
施設の面積	1.3㎡
保管上限量	0.2㎡
積上げ高さ	1.0m(容器)

2022年度に山形市の産業廃棄物収集運搬業の積替え保管品目を追加しております

産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	廃アルカリ
施設の面積	0.5㎡	0.5㎡	3.7㎡
保管上限量	0.4㎡	0.4㎡	1.6㎡
積上げ高さ	1.0m(屋内)	1.0m(屋内)	1.0m(屋内)

産業廃棄物の種類	廃油
施設の面積	3.7㎡
保管上限量	1.6㎡
積上げ高さ	1.0m(屋内)



積替え保管場所
(廃油)

積替え保管場所
(汚泥・廃酸・廃アルカリ)



3) 処分業(本社工場)

【産業廃棄物の処理施設の概要】

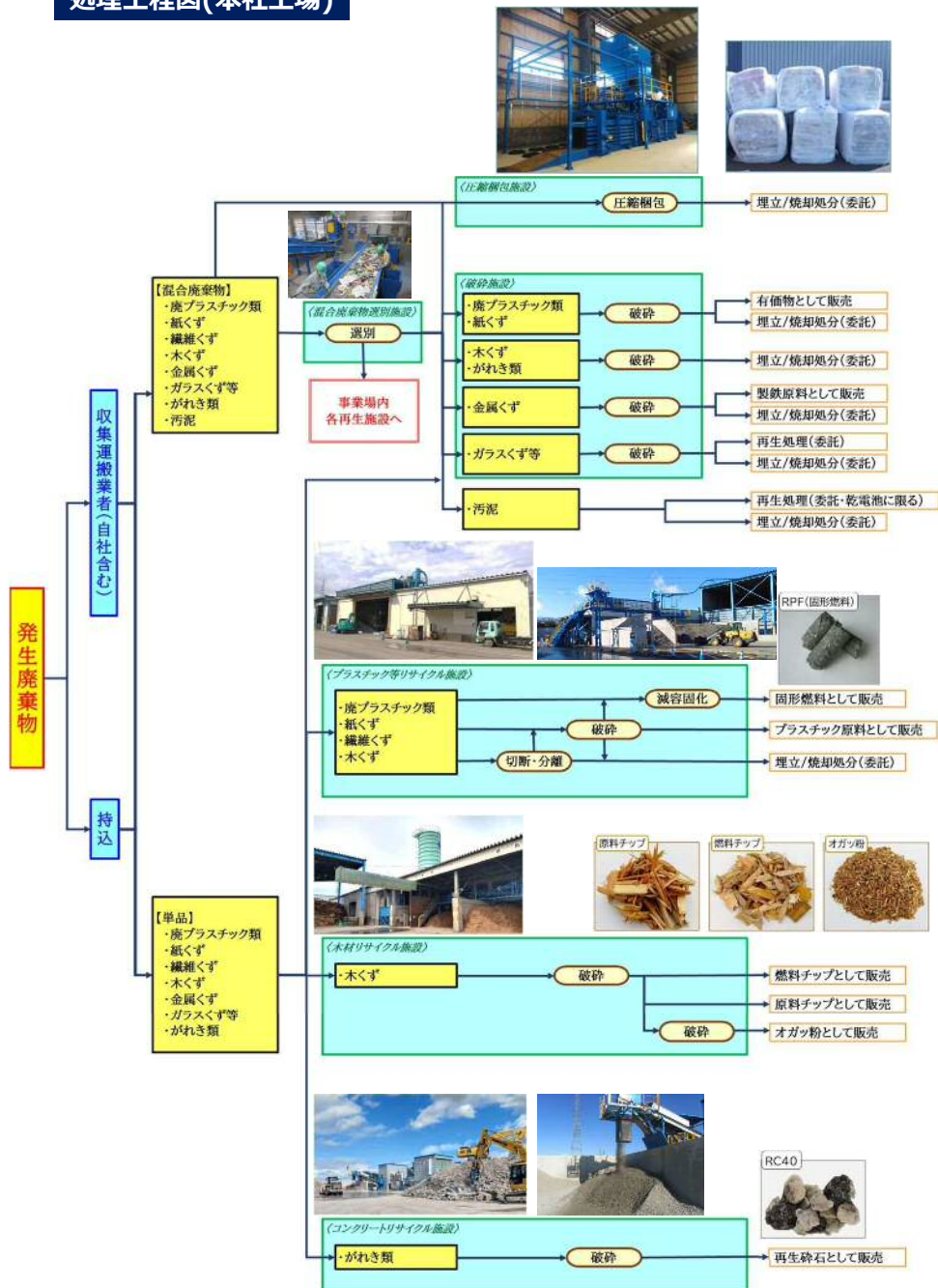
場 所：山形県山形市飯塚町字中河原1629番地の5



施設の種類	設置年月日	処理する産業廃棄物の種類	処理能力	処理方式	構造及び設備の概要
木材リサイクル施設	1992/12/10	木くず	200 t / 日(8時間)	破碎 ・スイングハンマー方式	・MHM-300 B H (250kW) ・キングシュレダSK200C型 (190kW) ・二軸破碎機(22kW×2) ・選別機 ・金属検知器 ・チップサイロ(飛散・発じん防止)
プラスチック等リサイクル施設	2006/9/1	廃プラスチック類 紙くず・木くず 繊維くず	破碎 54.6 t / 日(12時間) 減容固化 43.7 t / 日(12時間)	破碎 ・一軸せん断破碎 減容固化 ・押出し成形方式	・破碎機(250kW、75kW) ・成形機(400kW) ・散水ノズル(発じん防止) ・集塵設備(スクラバー式)
分離施設	2007/1/1	廃プラスチック類 紙くず	1.3 t / 日(8時間)	切断 ・巻取り方式	・リワインダーマシン
切断施設	2006/3/1	廃プラスチック類 紙くず	3.8 t / 日(8時間)	切断 ・切断方式	・多目的油圧切断機
混合廃棄物選別施設	2020/3/24	廃プラスチック類 紙くず・木くず 金属くず がれき類 ガラスくず等 繊維くず・汚泥	320m ³ /日(8時間)	選別 ・選別装置(反発式)	・選別装置(9.2kW) ・集塵機(5.5kW) ・エプロンコンベア(5.5kW) ・風力選別機(27.8kW) ・風力選別機(3.7kW)

施設の種類	設置年月日	処理する産業廃棄物の種類	処理能力	処理方式	構造及び設備の概要
コンクリートリサイクル施設	2018/8/30	がれき類	800 t / 日(8時間)	破碎 ・圧縮破碎方式	・ジョークラッシャー(75kW) ・磁選機 ・遮音壁(破碎音拡散防止) ・散水設備(粉塵対策) ・塀(処理物の敷地外への流出防止) ・ラバースクリーン(騒音防止)
廃プラスチック類の破碎施設及び木くず又はがれき類の破碎施設	2020/2/1	廃プラスチック類 紙くず・木くず 金属くず・がれき類 ガラスくず等 繊維くず	破碎 249.6 t / 日(12時間)	破碎 ・二軸せん断破碎	・二軸破碎機(200kW) ・磁選機 ・排出コンベア
圧縮梱包施設	2020/2/25	廃プラスチック類 紙くず・木くず 金属くず がれき類 ガラスくず等 繊維くず	370.9 t / 日(12時間)	圧縮梱包 ・圧縮マルチジャンボプレス機	・圧縮梱包機 ・投入コンベア ・ラッピング機

処理工程図(本社工場)



⑥産廃処理業者としての情報公開

3)処分業(関東支店)

【産業廃棄物の処理施設の概要】

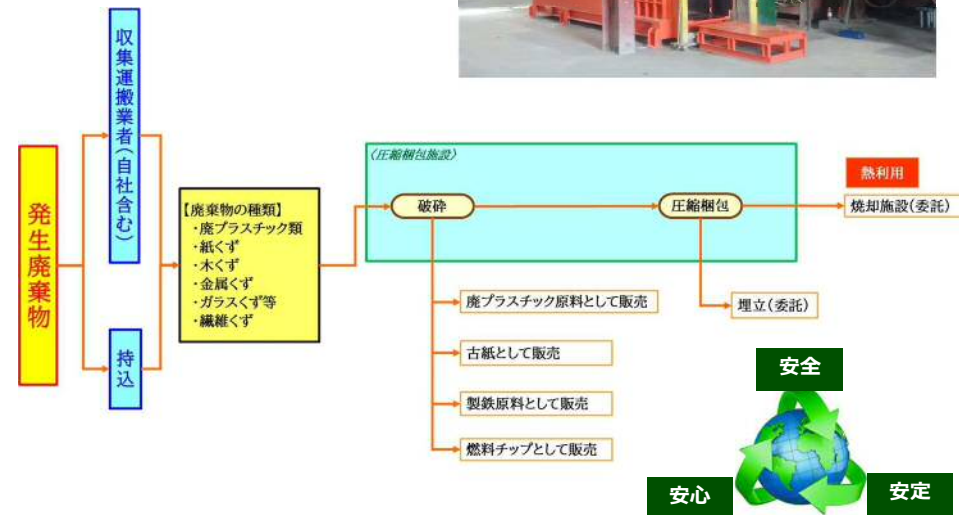
場 所：千葉県柏市新十倉二7-8 十倉二工業団地内



施設の種別	設置年月日	処理する産業廃棄物の種類	処理能力	処理方式	構造及び設備の概要
廃プラスチック類及び木くず又はがれき類の破砕施設	2012/1/18	廃プラスチック類	67.2t/日(24時間)	破砕機 ・一軸せん断破砕	・破砕機(150kW) ・磁選機 ・投入コンベア
		紙くず	67.2t/日(24時間)		
		繊維くず	84.0t/日(24時間)		
		金属くず	40.8t/日(24時間)		
		ガラスくず等	86.4t/日(24時間)		
圧縮梱包施設	2020/3/24	廃プラスチック類	72.0t/日(24時間)	圧縮梱包 ・油圧式縦押圧縮減容機	・圧縮梱包機 ・油圧ユニット ・結束機 ・排出ローラコンベア
		紙くず	84.0t/日(24時間)		
		繊維くず	86.4t/日(24時間)		
		ガラスくず等	84.0t/日(24時間)		
		金属くず	86.4t/日(24時間)		



処理工程図(関東支店)



⑥処分業者としての情報公開

4)受託した産業廃棄物及び一般廃棄物の処理実績 (2022年4月～2023年3月)

◎産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬量

廃棄物の種類	収集運搬量
燃え殻	383.0t
汚泥	455.2t
廃油	22.7t
廃酸	0.0t
廃アルカリ	0.5t
廃プラスチック類	8,417.5t
紙くず	237.2t
木くず	2,899.6t
繊維くず	9.8t
動植物性残さ	80.6t
ゴムくず	0.0t
金属くず	1,521.7t
ガラスくず等	2,039.7t
鉱さい	0.0t
がれき類	22,341.9t
ばいじん	0.0t
石綿含有廃棄物	廃プラスチック 11.2t
	金属くず 0.3t
	ガラスくず等 84.5t
	がれき類 43.0t
	石膏ボード 20.2t
水銀使用製品	ガラスくず等 4.3t
	金属くず 1.6t
特別管理産業廃棄物	廃プラスチック類 1.1t
	廃油 0.2t
	廃酸 (pH2.0以下) 0.0t
	廃アルカリ (pH2.0以下) 0.0t
	P C B汚染物 2.0t
	廃 P C B等 30.8t
	廃石綿等 22.5t
2022年度合計	38,631.2t

◎一般廃棄物収集運搬量

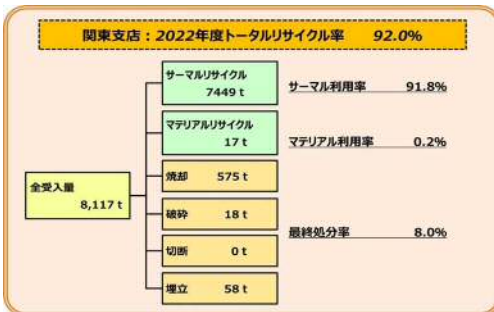
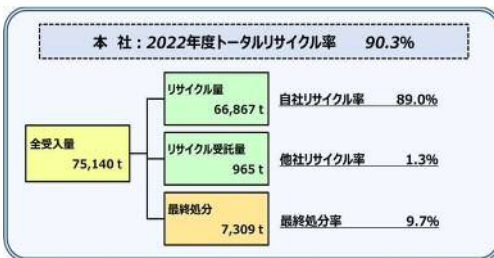
廃棄物の種類	収集運搬量
可燃	165.7 t
不燃	24.9 t
2022年度合計	190.7 t

◎一般廃棄物中間処理量

処分方法	廃棄物の種類	処分量
破碎(可燃)	木くず	405.0 t
	廃プラスチック	
	紙くず	
破碎(不燃)	ガラ陶	94.2 t
	コンクリート類	
	金属	
	廃プラスチック	
減容固化(可燃)	紙くず	307.9 t
2022年度合計		807.1 t

◎産業廃棄物中間処理量

廃棄物の種類	処分方法	処分量(本社)	処分量(関東支店)
廃プラスチック類	破碎	2,385.1 t	3.3 t
	減容固化	6,854.7 t	—
	分離	551.8 t	—
紙くず	破碎・圧縮梱包	0.0 t	6,541.8 t
	破碎	0.9 t	0.0 t
	減容固化	727.0 t	—
木くず	破碎・圧縮梱包	0.0 t	730.1 t
	破碎	7,555.1 t	748.5 t
繊維くず	破碎	0.0 t	0.0 t
	減容固化	12.0 t	—
	破碎・圧縮梱包	0.0 t	67.4 t
金属くず	選別	1.8 t	—
	破碎	2,005.0 t	13.9 t
ガラスくず等	選別	0.0 t	—
	破碎	4,362.6 t	—
	破碎・圧縮梱包	0.0 t	12.4 t
がれき類	破碎	50,682.4 t	—
汚泥	選別	1.4 t	—
合計		75,139.9 t	8,117.3 t
2022年度総合計		83,257.2 t	

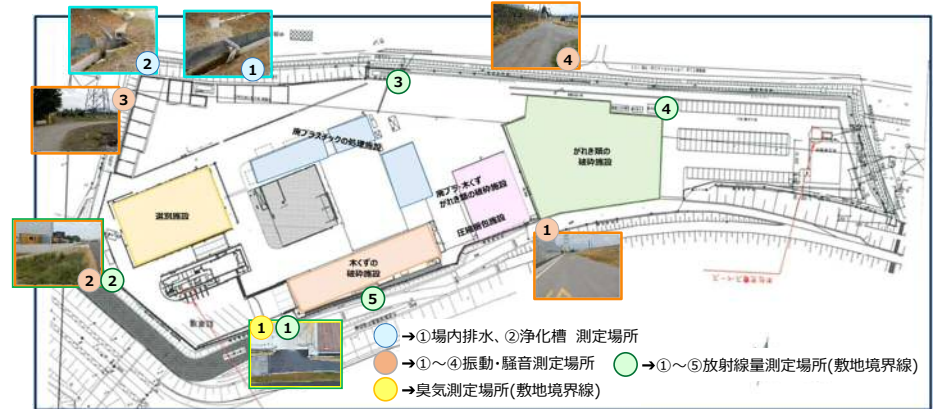


⑦環境測定結果

山形市との公害防止協定に基づく環境測定結果(2022年5月測定)

私たちは日々、周辺環境へ配慮をしながらリサイクル活動をしております。

【測定場所図面と測定箇所の写真】



【結果】

水質				
対象	項目	規制値	2022年5月測定値	判定
場内排水① (油水分離槽)	水素イオン濃度	5.8～8.6	7.8	○
	生物化学的酸素要求量	最大60	4.9	○
	浮遊物質	最大60	45	○
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	最大 3	1.0未満	○
生活系排水 (浄化槽)	水素イオン濃度	5.8～8.6	6.4	○
	生物化学的酸素要求量	最大60	4.7	○
	浮遊物質	最大60	2.4	○
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	最大 3	1.0未満	○



騒音			
測定箇所	規制値 (8時～19時)	測定値(昼)	判定
敷地境界線 No.1	65デシベル	53	○
敷地境界線 No.2		58	○
敷地境界線 No.3		54	○
敷地境界線 No.4		56	○

振動			
測定箇所	規制値 (8時～19時)	測定値(昼)	判定
敷地境界線 No.1	65デシベル	44	○
敷地境界線 No.2		42	○
敷地境界線 No.3		40	○
敷地境界線 No.4		43	○

放射線量測定結果公表 (2023年3月測定)

現在、当社におきまして震災がれきの受け入れは行っておりませんが、被災県（宮城県）の一般事業所から産業廃棄物を受入れていることから、敷地境界での放射線量を測定（週一回）し、公表しております。

放射線量(敷地境界線5ヶ所にて測定)				
2023.3.3	2023.3.10	2023.3.16	2023.3.24	2023.3.30
0.03 μSv/h	0.03 μSv/h	0.03 μSv/h	0.03 μSv/h	0.03 μSv/h



クリーンシステム 進化を

1992年 がれき類・木くず・混合廃棄物再生化プラント建設
株式会社クリーンシステムへ組織変更



がれき類再生化プラント

◆がれき類の再生化プラント→コンクリートを破碎し、再生砕石として販売



◆木くず再生化プラント→木くずを破碎し、木材チップとして販売



木くず再生化プラント



◆混合廃棄物再生化プラント→混合廃棄物を選別・破碎し、埋め立て処分量を削減



混廃選別・破碎施設

1998年 ◆可燃物の固形燃料化施設の建設→プラスチック・紙・木くず等を燃料化し石炭代替燃料として販売



1998年当時の事務所(窓口)写真

2000年 ◆木くず再生化プラントの増設(オガッ粉製造開始)



オガッ粉サイロ



事業拡大に合わせて車両や重機購入

2004年 ◆オガッ粉サイロ 建築
ISO14001認証取得



2008年 山形県知事許可 特定建設業(土木工事業、とび・土工工事業)

この項には収集車両も増え、廃棄物の収集から資源の回収という意識に切り替えリサイクル事業としてクリーンシステムへ拡大してきました



このステッカーを車両に貼り震災後の東北を応援

2011年 東日本大震災

続けてきた30年の歩み

2012年 関東支店を千葉県柏市に設置
震災木くず受け入れ 2012年4月~8月 (1,183t)
山形市立第八中学校の協力による壁画の制作
温室効果ガス排出量削減へ本格的に取り組む開始
CSRレポート作成



関東支店 場内写真



震災木くず受入

2013年 木材リサイクル施設屋根上に太陽光発電用パネル設置



太陽光発電用のパネルを設置
災害時など地元の皆様へ提供できるように協定を取り交わしました

2015年 東北クリーン開発(株)、(株)グリーンパワー山形様、当社の3社でパートナーシップ協定を締結

2016年 山形県知事許可 特定建設業(解体工事業)

当社は、資源リサイクル型に心掛けた解体工事を行っております



2017年 CSRステーション完成



インタンク設置



2018年 有限会社宇佐美製材所、有限会社南チップと資本提携

選別施設に最新の機械を導入高度な選別により、再資源できるものが増えました



破碎施設



RC施設



選別施設

2020年 「災害時におけるガソリン供給等に関する協定」の締結
新工場稼働(二軸破碎施設・圧縮梱包施設、選別施設)
株式会社南チップに組織再編



2021年 ZEB認証 新管理棟竣工
エコアクション21認証取得
山形県知事許可 特定建設業(建築工事業)



現在の事務所(窓口)写真
笑顔でお客様をお待ちしております

2022年 MS工事完成
株式会社オーガルホールディングス設立

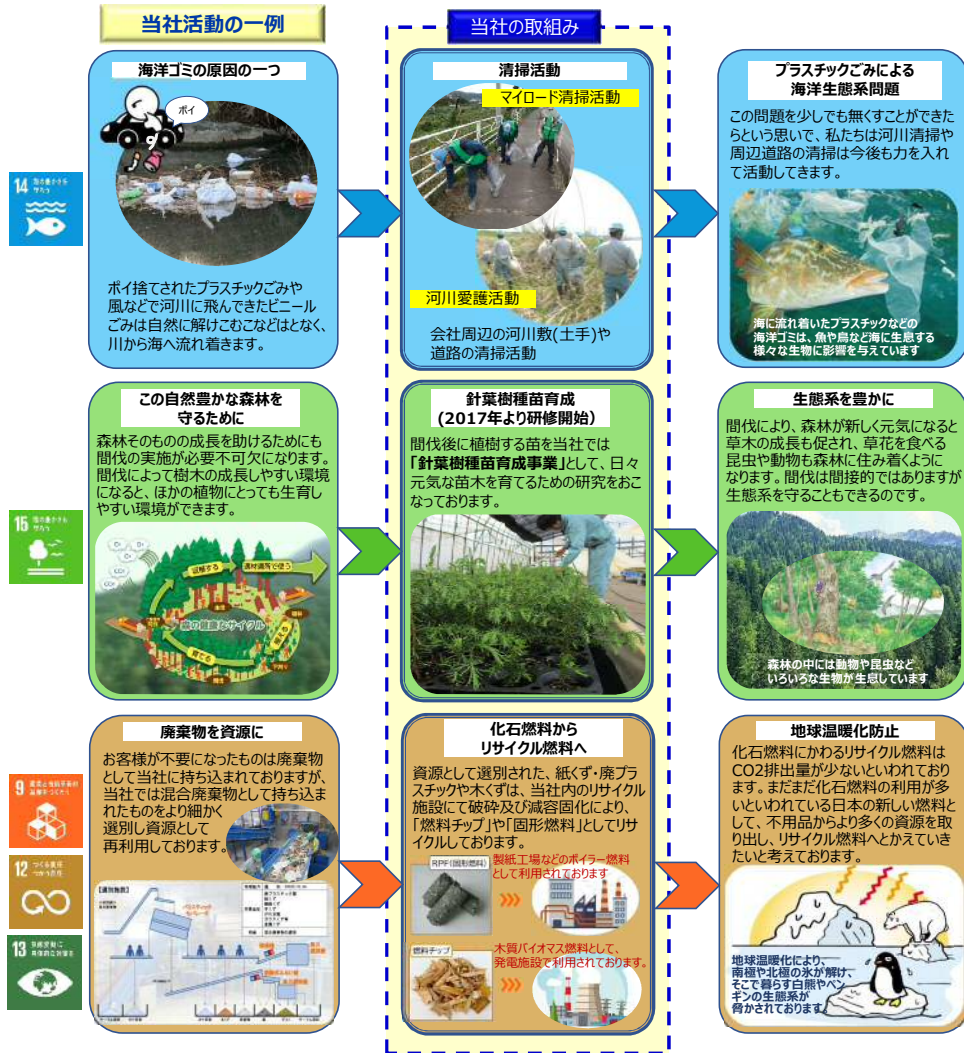


「T N F Dフォーラム」への参画について



T N F D : (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures : 自然関連財務情報開示タスクフォース)
「自然資本(森林、水、土壌、生物資源など)および生物多様性の観点からの事業機会とリスクの情報開示を求める国際的なイニシアティブ」と定義されており、生物多様性の減衰を回復に向かわせる「ネイチャーポジティブ(自然生態系の損失を食い止め、回復させていくこと)」な経済を促進させることが狙いです。

つまり、地球温暖化だけではなく、自然全体を守っていき事業活動・取り組みをし、情報公開を推進して参ります。



地球温暖化(気候変動)の影響で、近年絶滅危惧種となってしまう生物は4000種以上といわれています。私たちの活動は、地球規模で考えればまだまだ小さな活動だと思いますが、グループ企業含め当社従業員一人ひとりが「海の豊かさ」「森の豊かさ」を守るために行動し、そこに住む生態系を守ることを優先課題として活動していければと考えております。

自家消費型太陽光発電

【太陽光発電システムの利用状況と当社が考える太陽光発電のメリット】



太陽光発電システムの利用状況

棒グラフ：自社電力用

棒グラフ：全量売電用

面グラフ：累計



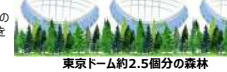
弊社施設屋根に設置してある太陽光パネルの2022年
年間発電量は101,943kWhは、一般家庭約18軒分の
年間電気使用量に相当します。

※一般家庭(4人家族)の年間電気使用量は500kWhで計算(省エネルギーセンター発表のデータ)



2022年の太陽光発電によるCO2削減量は約54t
東京ドーム約2.5個分の広さの森林が1年間で吸収する
CO2と同じ量の削減になります。

CO2削減量の算出には、まち未来製作所の
基礎排出係数0.000533(t-CO2/kWh)を
利用して計算しております。



東京ドーム約2.5個分の森林

当社が考える太陽光発電のメリット

BCP (Business Continuity Plan/事業継続計画)

B C Pとは災害などが発生しても会社が事業を中断させない、または中断したとしても可能な限り短い時間で復旧させるための方針、体制、手順を示した計画のことです。

＝太陽光発電は非常時の電力として活用できる＝

太陽光発電を設置していることにより、停電時に非常用電源として使用できるほか、災害などの緊急事態が発生した際に、近隣地域とは防災協定を結んでおり、災害による停電時には携帯電話等の充電を目的とした電気の供給をいたします。



CO2削減

CSR(企業の社会的責任)に取り組んでいる当社では、温室効果ガスを排出しない太陽光発電は非常にクリーンな発電設備と考えております。太陽光パネルを設置することで、従業員の環境意識も高まり、脱炭素社会への取組みに貢献できればと思います。

光熱費の削減

自家消費することにより高騰している電気料金を下げる効果があると考えております。

太陽光発電で発電した電力を建物内で消費することにより、契約電力に関しては電気代的大幅削減につながる可能性があります。

断熱効果

太陽光パネルを屋根に設置することで屋根への直射日光を遮る「遮熱効果」で施設内の空調効果が上がり、使用電力の削減につながるというわれています。

設置前の屋根の温度→約49度
設置後の屋根の温度→約38度
温度差→約11度
断熱効果 ※自然エネルギー財団HPより



アスベスト調査事業を始めました



石綿（アスベスト）とは、天然に産する繊維状けい酸塩鉱物で「せきめん」「いしわた」と呼ばれています。石綿は、そこにあること自体が直ちに問題なのではなく、飛び散ること、吸い込むことが問題となるため、労働安全衛生法や大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律などで飛散防止等が図られています。

また、8 0 m以上の解体工事、若しくは1 0 0 万円以上の改修工事にはアスベストの調査報告義務があります。石綿対策の規制が強化されたことを受け、クリーンシステムではアスベスト調査事業を開始いたしました。

調査・診断

事前調査・診断

2 0 0 6 年9月以前に建てられた建物には、多くの建材・資材にアスベストが使用されている可能性があります。そこで事前に現場を確認し、アスベストが使用されているかの事前調査・診断をさせていただきます。

図面診断

建築時の図面や改修履歴などがあれば、現場と図面を見比べてより詳しく調査することができます。またいつのどんな建材を使用しているかで、アスベスト含有を判断することもできる場合があります。

教育を受けた専門のスタッフが責任をもって調査します



サンプル採取・分析

サンプル採取

調査の結果、アスベスト含有の可能性がある建材は、私たちのスタッフがサンプリングし、提携を結んでいる信頼ある分析機関に分析を依頼します。

高所作業車

当社では高所作業車も所有しておりますので、高いところでもサンプルの採取が可能です。



信頼ある専門の分析機関が分析するので安心です



報告書作成

事前説明・申請・記録に必要な報告書を作成。

報告書作成

「石綿事前調査結果報告システム（厚労省・環境省）に必要な項目が全て含まれている報告書を作成いたします。（申請・報告は元方（元請）事業者様がおこなう必要があります）

保管義務

報告書は3年間保管するとともに、解体（改修）作業場所に備えつける必要があります。



お気軽にご相談ください

TEL : 023-644-2229【営業直通】
担当部署：ソリューション推進事業部

3年ぶりの開催 河川清掃/ 芋煮フェス/安全衛生大会

2020年と2021年はコロナウィルスの流行に伴い、蜜を避けるため様々な行事を中止にしました。しかし2022年は感染症対策をしっかりととりながら大人数での行事を行うことができました。

企業市民としての社会貢献



河川清掃

私達の会社の目の前には、「須川」という川が流れております。須川は山形県の代表河川「最上川」に合流する川でもあります。そんな須川の河川敷からゴミをなくそうという思いで、当社グループ従業員と協会の会員企業様の皆様が早朝からボランティアで清掃活動を行いました。感染対策として、マスクを着用し、人との距離に注意しながらの活動でしたが、久しぶりに大勢の仲間との行事は楽しさも感じられました。



河川清掃等の活動が評価されました

美しく安全・安心な県土づくりの感謝状を頂きました。公共土木施設の美化活動や安全性の向上に関して功績のあった団体等を対象に山形県より感謝状が授与され、今回初めての受賞となりました。当社は2012年度より参加している山形県ふるさとの河川愛護活動や、マイロード清掃活動などで定期的に会社周辺の清掃を継続してきたことが評価されたようです。また、河川工事により堤防道路が新しく生まれ変わり、ジョギングなどを楽しむ方も見かけるようになりました。今後も弊社を気持ちよくご利用いただけるような環境づくりに力を入れていきたいと思っております。



ステークホルダーとの共存共栄

芋煮フェス



従業員の健康チェックはもちろん、お客さまにも入場時の体温チェックを実施しました。

山形の秋の風物詩といえば「いも煮会」。当社には300人分を一度に作れる大鍋があり、それでつくるいも煮が名物となっております。

県外から参加されるお客さまにも大変喜ばれるこのイベントも、コロナウィルス感染症の流行により2年間開催を断念しておりました。しかし感染症対策を綿密に計画し、お客さまにもご協力いただくことで、2022年10月に待ちに待った「いも煮フェス」を開催することができました。

CSグループ安全衛生大会

作業中の事故を未然に防ぐために、当社ではいろいろな教育や研修を行っています。中でも、当社グループ従業員及び協力企業総勢180名が参加しての安全衛生大会を開催しました。安全に働ける職場環境の構築を目的としており、コンサルタント事務所の渡部所長様より「みんなで目指すゼロ災害」という演題の講話を聴き、組織一丸となって安全に取り組む企業風土の大切さを学びました。

また、模範となる協力企業様への感謝状の贈呈や、安全功労者等への表彰も行いました。



事故を起こさない職場環境をつくるための安全衛生大会。こういった積み重ねにより、当社の事故件数は減少しています。

2022年度CSR活動実績一覧

詳しい活動内容は、掲載ページをご覧ください。

活動内容	SDGsの目標	掲載ページ
コンプライアンスの推進		
公害防止協定に係る環境測定報告	 	24ページ
ステークスホルダーとの共存共栄		
3年ぶり「いも煮フェス」開催		30ページ
30周年記念植樹祭		32ページ
CSグループ安全衛生大会開催	  	30ページ
企業価値・利益の向上		
自動車優良整備事業所の表彰	 	32ページ
産業安全優良事業場の表彰	 	32ページ
循環型社会形成推進功労者等環境大臣賞受賞	 	32ページ
献血の実施		12ページ
4年連続「健康経営優良法人」の認定	 	32ページ
企業市民としての社会貢献		
河川清掃/美しく安全・安心な県土づくりの感謝状	   	30ページ
遊戯施設へのウレタンマット、おもちゃ箱寄贈（じもと応援私事債）	 	33ページ
近隣地区への寄付	 	33ページ
山形市社会福祉協議会様へ食料品の寄贈（3回）	  	33ページ
AEDの屋外設置	  	33ページ
トルコ・シリア地震義援金寄付（20万円）	  	33ページ
山形市内小学校2校の会社見学（環境学習）	 	34ページ
リフレッシュルームの貸し出し	 	34ページ
お客様・従業員満足度の向上		
従業員満足度調査		34ページ
CSグループ「SDGsポスターコンテスト」開催	 	34ページ
従業員へインフレ手当の支給 12月～3月		34ページ
従業員へ30周年記念品贈呈		34ページ
お客様へバレンタインチョコレートのプレゼント		34ページ

2022年度CSR活動報告

ステークスホルダーとの共存共栄

30周年記念植樹祭

株式会社クリーンシステム30周年を記念し、クリーンシステム協会様よりソメイヨシノの苗木を寄贈いただき、11/2（水）に植樹式を執り行いました。天へ向かってすくすくと成長する桜と共に、今後とも持続可能な発展を続けて参ります。



30周年記念でいただいた桜は、4月上旬にきれいな花を開花させました。私達の持続可能な社会づくりへの挑戦を応援してくれているようです。

企業価値・利益の向上

自動車優良整備事業所としての表彰



優良整備事業所の表彰を受けました

日頃の車両整備管理体制と実績が認められ、山形県自家用自動車協会より、会社と社内の車両整備担当者が優良整備者として表彰されました。今後も事故を未然に防ぐために気を引き締めて継続して参ります。

ネジの緩みと心のゆるみは事故の元



山形労働基準協会より「産業安全優良事業場」の表彰

産業安全優良事業場表彰を受けました

山形地区産業安全衛生大会において産業安全優良事業場表彰を受けました。本表彰の基準は、事業場の安全管理体制の構築や、違反や事故がないこと、研修会への積極的な参加等があり、この度、多数の事業所の中から山形労働基準協会様より選ばれました。産業廃棄物処理業者としては初めての表彰になります。弊社が日頃より実践している安全活動が評価され、大変うれしく思います。今後も労働安全衛生法を順守し、安全で笑顔溢れる職場づくりを継続して参ります。



環境大臣表彰



環境大臣表彰を受けました

弊社代表の鈴木が循環型社会形成推進功労者として環境大臣より表彰を受けました。3R活動を通じた循環型社会形成推進の功績が認められたものであり、大変名誉ある表彰をいただき光栄に存じます。これもひとえに皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。今後とも産業廃棄物業界の発展の一助となるべく、資源循環の推進ならびにSDGsの支援を当社グループ企業一同で継続して参ります。

健康経営優良法人認定



4年連続「健康経営優良法人」の認定を受けました

従業員の健康と働きやすい職場環境を整えるための各種取り組みが認められましたことに嬉しく感じております。今回の社内健康保持増進運動の結果として禁煙者3名、また献血の協力者数が過去最高になるなど社内全体に健康意識が高まってきております。昨年4月に65歳までの定年引上げを実施。健康で安心して働くことができる職場づくりに一層力を入れて取り組んで参ります。



企業市民としての社会貢献

遊戯施設へのウレタンマット、おもちゃ箱寄贈（じもと応援私事債）



山形市南部児童遊戯施設コバル様へ遊具備品を寄贈致しました

山形市南部児童遊戯施設コバル様に30万円分の遊具備品（乳幼児用ウレタンマット及びおもちゃボックス）を寄贈し、山形市より感謝状を頂きました。コバル様が掲げる「性別や年齢、人種・国籍の違い、障がいの有無など、すべての子どもたちがともに遊べる」というコンセプトがSDGsの理念に共感し、「山形市」の企業市民の一員として、地域の皆さまが安心して住み続けられるまちづくりへの社会貢献にもつながるとの想いから寄贈することに致しました。子どもたちが楽しく遊んで、未永くお使いいただけることを願っております。

おかげさまで、弊社は現社名となってから30周年を迎えました。今までのご支援への感謝を忘れずに、これからも決意を新たに、地域にとって必要不可欠な会社となれるよう努めて参ります。

近隣地区への寄付

近隣地区に対する寄付贈呈式を執り行いました



弊社は現社名（株式会社クリーンシステム）となり今年で30周年を迎えました。廃棄物処理業を行うには地域の方々からのご理解が不可欠であり、これまでも清掃活動を始めとする様々な地域貢献・CSR活動に取り組んでおります。この周年を機に、飯塚町町内会ならびに村木沢地区悪戸自治会の代表者をお招きし、これまでの感謝の意を込め、それぞれ30万円の寄付を行いました。また寄付を受けた両地区から感謝状を拝受しました。今後も地域の皆様に寄り添った企業活動を継続して参ります。



社会福祉協会様へ食料品寄贈（3回）

山形市社会福祉協議会様へ災害備蓄品を寄贈致しました

少しばかりですが、地域の方々に有効にご活用頂ければ幸いです。



2022年7月即席みそ汁（180食）



2022年9月 さんま缶詰（120食）



2023年3月 レトルト肉じゃが（50食分）

AEDの屋外設置

何時でも誰でもAEDをご利用いただけます！



社内のみならず地域の方にもAEDをご利用いただけるように、10月より設置場所を事務所内から屋外へ変更し、気候の変化に対応できる専用の温度管理ボックスを導入しました。24時間誰でも利用可能になりましたので、緊急時はご利用ください。今後とも本業である廃棄物リサイクル事業と共にSDGsの支援を継続し、持続可能な社会の形成に貢献して参ります。

【設置場所】

- ①本社入口（山形市飯塚町字中河原1629-5）
- ②管理棟入口（山形市飯塚町字中河原1629-5）
- ③CSRステーション事務所入口（山形市鑄物町6）



トルコ・シリア地震義援金寄付

日本赤十字へ「2023年トルコ・シリア地震救援金」を寄託



2023年2月6日にトルコ南東部、シリア国境付近で大きな地震が発生しました。東日本大震災を超える被害に驚愕し、すぐにクリーンシステムグループの全職員に寄付を募ったところ20万円が集まり、この寄付金を被災地へ送るため、日本赤十字「2023年トルコ・シリア地震救援金」に寄託しました。この義援金が被災地の少しでも早い復興の一助となることを心から願っております。



企業市民としての社会貢献

山形市内の小学校2校が会社見学に来てくれました



当社は「山形県環境学習支援団体認定（2005年6月）」を受けております。

コロナウイルス流行の為2年間実施できずにおりましたが、2022年度は山形市内の小学校2校が会社見学に来てくれました。座学ではリサイクル活動を行う当社の取組み等の説明を一生懸命メモを取ってくれたり、選別施設の見学では混合廃棄物の中から機械と手作業による選別により多くの資源を取り出し再利用している話を熱心に聞いてくれていました。

今、私たちはこの子供たちの未来を守るため廃棄物の再資源化やSDGsに取り組んでおりますが、見学に来てくれた子供たちが大人になった時、今回学んだ環境への取り組みを継承してもらい次の世代へと繋いでいっていただけたらと考えております。当社では環境学習支援を今後も取り組んでまいります。

リフレッシュルームの無料貸し出し



2021年3月に完成しました新管理棟のリフレッシュルームを地元の方や外部団体様へコンベンションスペースとして貸し出ししております。こちらのリフレッシュルームはカフェのようなおしゃれなデザインで、窓からは四季折々の蔵王山を見ることが出来ます。

ちょっとしたイベントや昼食会など、場所がなくてお困りでしたらぜひ当社総務部までご相談ください。（現在まで一団体様への貸し出し実績がございます）

なお、こちらの建物は従来の建物に比べエネルギー消費量を50%削減できるような設計になっており、さらに隣の選別工場屋根に設置してある太陽光で発電した電気を利用しており、環境に配慮した脱炭素社会への構築に貢献した建物となっております。



お客様・従業員満足度の向上

従業員満足度調査



2回目の従業員満足度調査

結果については前回より総合幸福度は**0.5ポイント上昇**となりました。少しでも上がったことに対しては良かったですが、改善項目の5項目の内3項目は前回同一項目で、若干の改善傾向が見られたのは内1項目でした。著しく点数を上げることは難しいと思いますが、前回同様、より良い職場づくりに努めてまいります。

CSグループ「SDGsポスターコンテスト」開催



SDGsのことを社内だけでなく家庭でも話し合う機会があればいい、SDGsポスターコンクールというイベントを開催したところ、社員だけでなく社員の子供達から16点の作品が届きました。（応募作品は今回の表紙のデザインとして掲載しておりますので、そちらをご覧ください。）



従業員インフレ手当の支給 12月～3月



昨今の止まらない物価高騰が続く中、従業員の生活への不安の軽減と仕事へのモチベーションアップを図るべく、全従業員へ12月から3月の4か月間20,000円のインフレ手当の支給を行いました。

従業員へ30周年記念品贈呈



日頃の業務に真剣に向き合い、努力を重ね、お客様と地域の方々からの信頼を得ることができた賜物に対する感謝と30周年を皆で祝うべく、3万円相当の記念品を会社より従業員全員へ贈呈しました。これまで以上に従業員と一丸になって協力し合い、常に新たな課題に向かって挑戦していきます。



お客様へバレンタインチョコレートのプレゼント



2月14日、日頃から当社をご利用いただいているお客様へ、感謝の気持ちを込めてバレンタインチョコレートのプレゼントを実施しました。これは毎年当社フロント業務課（窓口）が企画しているイベントで、渡したときのお客様の笑顔思い浮かべながらチョコレートやキャンディーを袋詰めしております。

地球の未来を守れるのは私達です



クリーンシステム

CLEAN SYSTEM



クリーンシステムの情報閲覧はこちらからどうぞ
HP [http s ://www.csyam.com/](http://www.csyam.com/)

当社HPよりSNSもご覧いただけます。



Facebook



Twitter



Instagram

クリーンシステム

検索